

# 清里町 観光振興計画



平成 29 年 3 月 北海道 清里町



## も く じ

I	計画をつくるにあたって	1
1	計画の目的と位置づけ	1
(1)	計画の目的	1
(2)	計画の期間や位置づけ、内容など	1
2	清里町の観光の現状と課題	2
(1)	清里町の観光資源	2
(2)	清里町に関する観光客の動向	4
(3)	来訪者アンケート調査	6
(4)	現状と課題の分析	14
3	清里町の観光がめざすもの	16
(1)	清里町での滞在を楽しむ人に来てもらう	16
(2)	「自然保護と経済好循環の共生」をめざす	16
(3)	「地域産業との共生」をめざす	17
(4)	滞在から新たな人の輪、力へとつなげていく	17
II	計画の内容	18
1	清里町を知ってもらい、来てもらう	20
(1)	町外でのPR、広域的な視点でのPRを行う	21
(2)	アピールポイントをいかした、情報発信を行う	21
(3)	ターゲットを意識した、情報発信を行う	22
(4)	清里町に来てもらう企画をつくる	22
2	清里町をまわってもらい、泊まってもらい	23
(1)	滞在を促す情報を提供する	25
(2)	観光情報をていねいに伝える	25
(3)	滞在を促す企画を増やす	26
(4)	滞在を促す環境を整える	26
(5)	立ち寄りスポットをまわりやすいようにする	27
3	清里町を気に入ってもらい、紹介してもらう	28
(1)	また来たいと思われる対応を心がける	29
(2)	再訪者を大切にする	29
(3)	清里町の永続的なファンになってもらう	29
4	地域の人たちと取り組む	30
(1)	清里町の観光について考える機会を増やす	31
(2)	清里町の観光に関わる人を増やす	31
(3)	観光による経済波及効果を高める	32
III	関係資料	33
1	策定の経過	33
2	「観光振興計画策定委員会」名簿	34



# I 計画をつくるにあたって

## 1 計画の目的と位置づけ

### (1) 計画の目的

清里町は北海道の東部にあるオホーツク地域（総合振興局）にある町です。

知床半島のつけ根に位置し、知床国立公園・阿寒国立公園・網走国定公園・斜里岳道立自然公園に囲まれており、秀峰・斜里岳をはじめ、神秘の湖・摩周湖が展望できる裏摩周展望台、摩周湖からの地下水でできたと言われる神の子池、夏にサクラマスが飛び交うさくらの滝などがあります。

一方、国内有数の大規模畑作農業地帯でもあり、町内には年ごとに・季節ごとに変化する農村風景が広がっています。また、まちづくりの一環として「花と緑と交流のまちづくり」が進められており、住民によって育てられる花の景観を楽しむことができます。

このような大自然がもたらす「手つかずの景観」と、農業や花のまちづくりによる「人の手による景観」の双方が清里町の魅力となっており、毎年、これらの景観を求めて多くの観光客が訪れています。特に近年は、神の子池やさくらの滝を訪れる人が増加の傾向にあるほか、優れた自然環境のもと、温泉やスポーツ、アウトドア活動を目的に訪れる人も多く、「農業のまち」としてだけでなく「観光のまち」としてのまちづくりを考え、より一層進めていくことが必要となってきました。

そこで、「観光地・清里」としての現状を分析し、これからの可能性や問題点、改善すべき課題などを整理するとともに、これからの観光振興を図るうえでの方向性と、具体的に取り組む内容を示すため「清里町観光振興計画」を策定しました。



### (2) 計画の期間や位置づけ、内容など

#### <期間や位置づけについて>

○この計画は、清里町のまちづくりの最上位計画「清里町総合計画」における、観光振興に関わる個別計画として位置づけます。

○計画の期間は、平成 29 年度から平成 33 年度までの 5 年間です。

#### <内容について>

○計画期間に進める内容を中心として示しますが、計画期間を越えて、中長期的な視点を持って取り組むべきことも示しています。

○清里町（行政）や観光協会が主体となって行う内容を中心に示していますが、個々の住民や事業者、各種団体などに期待される内容についても示しています。

○計画期間内に重点的に進める内容については「重点的に進める内容」として示しています。

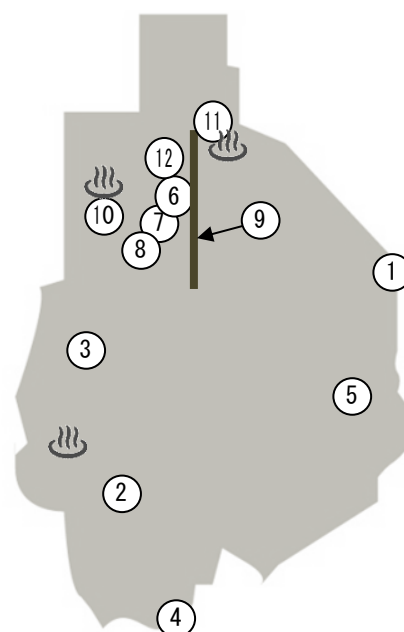
## 2 清里町の観光の現状と課題

### (1) 清里町の観光資源

清里町の観光資源をまとめると、次の表のとおりです。公共の温泉は、清里温泉緑清荘、道の駅パパスランドさつつる、緑の湯の3か所にあります。

このほか、まちなかには花壇など花のある風景があると同時に、市街地から出ると農村景観が広がり、どちらも清里町を代表する景観となっています。

さらに、応募形式により「景観スポット」を選定し、町のホームページで紹介しています。



<p>① 斜里岳</p>		<p>阿寒の山々と知床連山の間にもそびえる日本百名山の一つ。標高は1,547m。登山ルートは3つあり、清里町側から「清岳荘」を通るルートが最もポピュラー。</p> <p>多くの方が登山を楽しむ山であるとともに、清里町から眺める山の姿は美しく、町の代表的な景観の一つとなっている。</p>
<p>② 神の子池</p>		<p>周囲220m、水深5mの小さな池で、「カムイトー：神の湖」である摩周湖の伏流水からできているという言い伝えが名前の由来。1日1.2万tの水が湧き出し、池の底までくっきりと見える。水温が年間通して8℃と低く、倒木が青い水の中に腐らずに化石のように沈んでいる景観が美しい。</p>
<p>③ さくらの滝</p>		<p>昔海底であった頃の砂岩が崩れてできた滝で、春には桜が咲き、6月上旬から8月上旬にサクラマス（ヤマメ）が滝を飛び越えようとジャンプする姿が見られる。NHKの「さわやか自然百景」のオープニングで用いられていることもあり、人気が高まっている。</p>
<p>④ 裏摩周展望台</p>		<p>中標津町との町境にある展望台で、弟子屈町にある第1、第3展望台の反対側にあるため「裏摩周展望台」と呼ばれている。弟子屈町側の展望台よりも標高が低いため、霧の発生が少なく神秘的な湖面を望むことができる。</p>
<p>⑤ 男鹿の滝</p>		<p>緑町から約20km、斜里岳の南側、斜里川林道の奥深くにある、高さ25mの滝。斜里岳の銀嶺水が1日3万tも岩から湧出し流れ落ちているもので、上流には川がない滝である。滝の下流は溪流釣りのスポットで、釣りが楽しめる。</p>

⑥ 清里オートキャンプ場		コテージ 5 棟、バンガロー 7 棟、カーサイト 20 サイト、フリーサイト 23 サイトがあるキャンプ場。斜里岳や焼酎醸造所など清里の見どころにも近く、また温泉施設もそばにあるので、一日中大自然の中でのんびりと過ごすことができる。
⑦ 宇宙展望台		町営牧場の丘の上にある展望台で 2001 年秋に新設された。夜に迫力満点の星空が頭上に広がり、宇宙を身近に感じることができることから名付けられた。昼は清里の町並みや農地、オホーツク海、江鳶山、斜里岳や知床連山などが見渡せる。展望台入口には管内最大のさけますふ化場があり、見学もできる。
⑧ 江南パークゴルフ場		江南丘陵地にあるパークゴルフ場。A・B・C・D・E・F の 6 コース、全 54 ホールの公益社団法人日本パークゴルフ協会公認コース。
⑨ ストレートロード		斜里岳登山口付近からオホーツク海付近まで続く 14 km の真っ直ぐな道路。海に向かって続いているように見える。
⑩ 道の駅「パパスランドさつる」		清里町の道の駅で、平成 25 年 4 月にリニューアルオープンした。露天風呂日帰り入浴施設があり、正面には自由に利用できる足湯もある。そのほか、レストランや直売所、全 18 ホールのパークゴルフ場、ドッグランなどがある。
⑪ きよさと情報交流施設「きよ〜る」		平成 28 年 7 月に、清里焼酎醸造所隣にオープンした施設。観光案内や研修室のほか、特産品を使ったメニューが楽しめるカフェ、地元の野菜や商品等を販売する売店、子どもの遊び場などがある。
⑫ 清里焼酎醸造所		昭和 50 年に清里焼酎事業をスタートし、町の特産品であるじゃがいも焼酎を製造している。施設は公開しており、夏から秋の仕込み時期には作業風景も見学することができる。

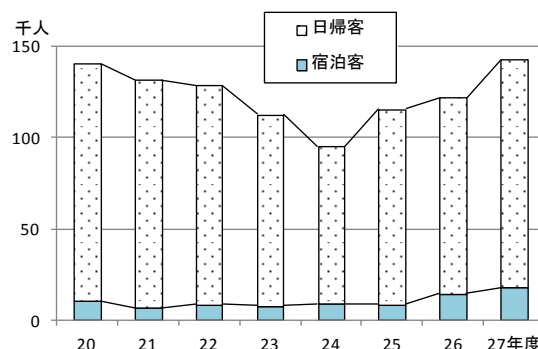
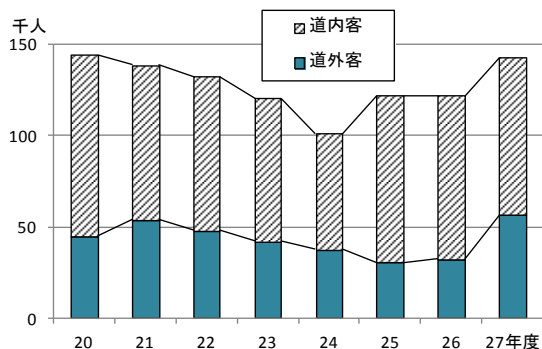
また、景観と地域資源を生かしたまちづくりが加盟の条件となる「日本で最も美しい村」連合に、「斜里岳の裾野に広がる防風林の農村風景」「斜里川が育んだ豊かな水と森林資源」「大規模穀物栽培が育てた循環型農業」を地域資源として申請し、住民参加による花のまちづくりや JR 駅の清掃活動なども評価され、平成 28 年 10 月に加盟しました。(平成 28 年 11 月時点で 64 町村・地域が加盟)

## (2) 清里町に関する観光客の動向

清里町における観光客の入り込み状況の推移をみると、平成 25 年度以降、道内客を除くと増加の傾向にあり、宿泊客延数も増加しています。

【実数】清里町の観光客等の推移(単位は千人)

区分	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度
<b>入込総数</b>	<b>144.7</b>	<b>138.8</b>	<b>132.7</b>	<b>120.8</b>	<b>101.0</b>	<b>121.8</b>	<b>122.0</b>	<b>143.1</b>
うち道内客	99.8	84.9	84.9	78.6	63.9	91.4	89.7	86.7
うち道外客	44.9	53.9	47.8	42.2	37.1	30.4	32.3	56.4
うち日帰客	130.2	125.0	120.1	104.7	86.0	107.2	107.4	124.9
うち宿泊客	10.4	6.8	8.8	8.0	9.1	8.6	14.6	18.2
<b>宿泊客延数</b>	<b>14.6</b>	<b>16.7</b>	<b>12.6</b>	<b>16.3</b>	<b>15.1</b>	<b>14.8</b>	<b>15.0</b>	<b>18.2</b>



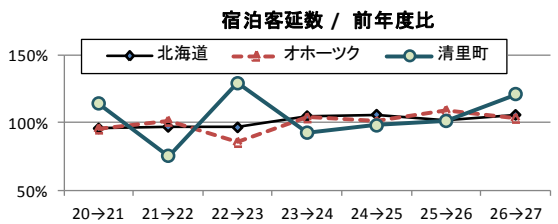
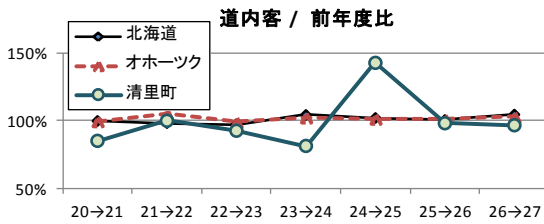
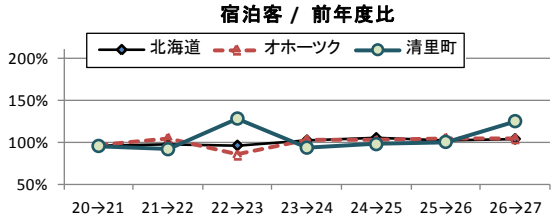
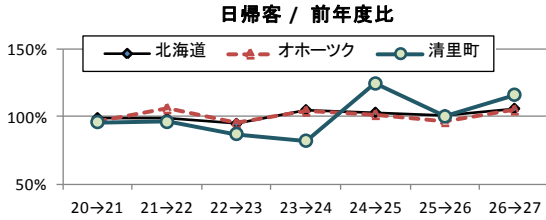
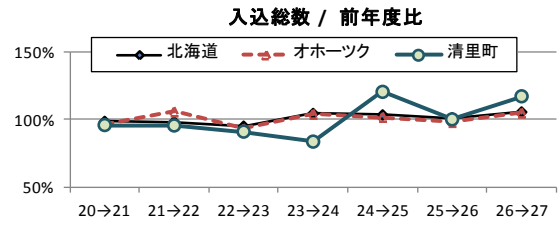
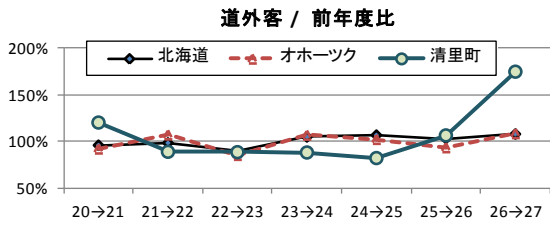
入り込み状況の推移を、前年度比(%)で、北海道全体やオホーツク地域全体と比べると、本町の増加率は、近年、比較的高い状況となっています。

【前年度比】北海道、オホーツク地域、清里町の観光客等の推移(単位は%)

		20 年度→ 21 年度	21 年度→ 22 年度	22 年度→ 23 年度	23 年度→ 24 年度	24 年度→ 25 年度	25 年度→ 26 年度	26 年度→ 27 年度
入込 総数	北海道	98.5	98.2	95.0	104.4	103.4	101.2	105.6
	オホーツク	96.3	105.8	93.2	104.1	101.8	98.2	104.8
	清里町	<b>95.9</b>	<b>95.6</b>	<b>91.0</b>	<b>83.6</b>	<b>120.6</b>	<b>100.2</b>	<b>117.3</b>
道内客	北海道	99.8	98.3	97.4	104.3	102.1	100.6	104.6
	オホーツク	99.7	105.0	99.1	102.5	101.6	101.3	102.8
	清里町	<b>85.1</b>	<b>100.0</b>	<b>92.6</b>	<b>81.3</b>	<b>143.0</b>	<b>98.1</b>	<b>96.7</b>
道外客	北海道	95.7	98.2	89.4	104.6	106.5	102.8	107.8
	オホーツク	91.8	107.0	85.0	106.7	102.2	93.4	108.1
	清里町	<b>120.0</b>	<b>88.7</b>	<b>88.3</b>	<b>87.9</b>	<b>81.9</b>	<b>106.3</b>	<b>174.6</b>
日帰客	北海道	99.1	98.5	94.8	105.0	103.1	101.2	106.0
	オホーツク	96.2	106.1	95.3	104.4	101.8	96.8	105.0
	清里町	<b>96.0</b>	<b>96.1</b>	<b>87.2</b>	<b>82.1</b>	<b>124.7</b>	<b>100.2</b>	<b>116.3</b>
宿泊客	北海道	96.2	96.9	95.8	101.9	104.7	101.2	103.5
	オホーツク	96.7	104.6	84.7	102.9	101.8	104.7	104.2
	清里町	<b>95.2</b>	<b>91.3</b>	<b>127.8</b>	<b>93.2</b>	<b>97.3</b>	<b>100.0</b>	<b>124.7</b>
宿泊客 延数	北海道	95.8	96.9	96.5	104.9	106.0	102.1	105.9
	オホーツク	95.6	101.3	85.6	103.9	101.1	109.1	103.5
	清里町	<b>114.4</b>	<b>75.4</b>	<b>129.4</b>	<b>92.6</b>	<b>98.0</b>	<b>101.4</b>	<b>121.3</b>

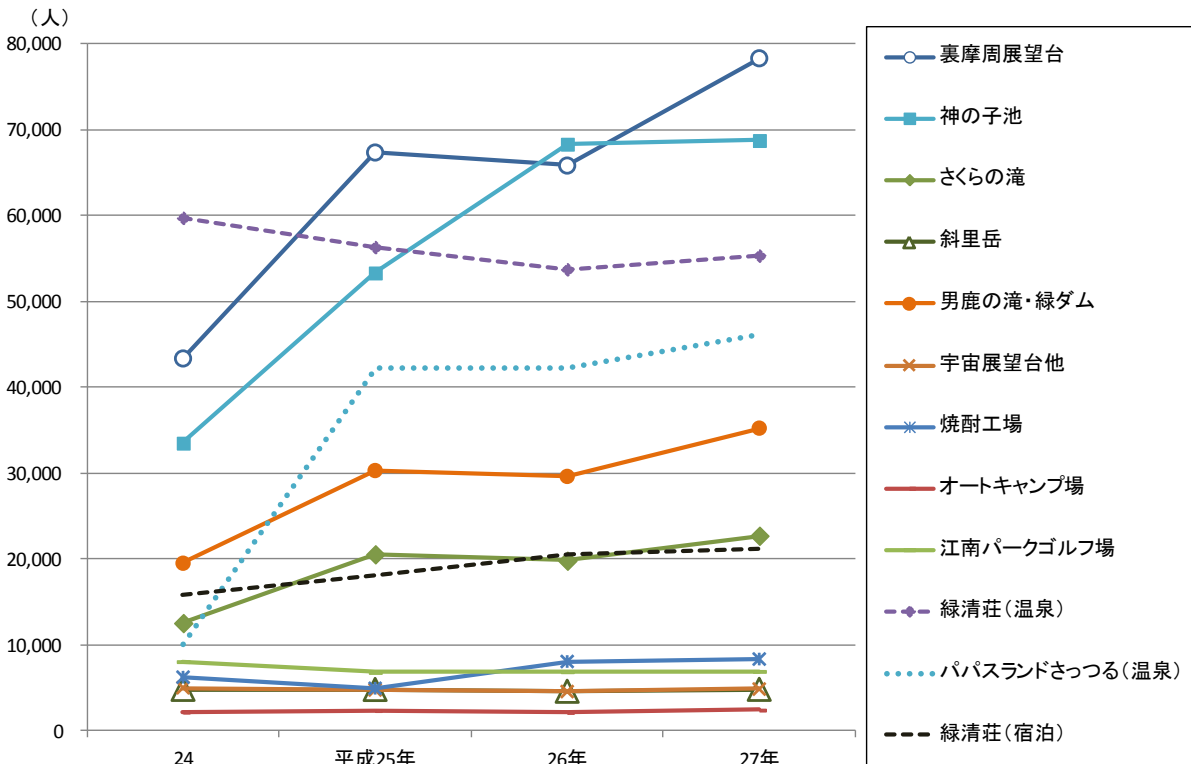
※「北海道観光入込客数調査報告書」より。網掛け部分は北海道やオホーツク地域と比べて高い数値の部分。





また、清里町内の観光客数の推移を、主な立ち寄りスポット別にみると、近年、多くの立ち寄りスポットで増加傾向となっており、特に、裏摩周展望台や神の子池、道の駅「パパスランドさつる（温泉）」などで増加がめだちます。

【実数】清里町内の主な立ち寄りスポットにおける観光客数の推移（単位は人）



※町調べ。

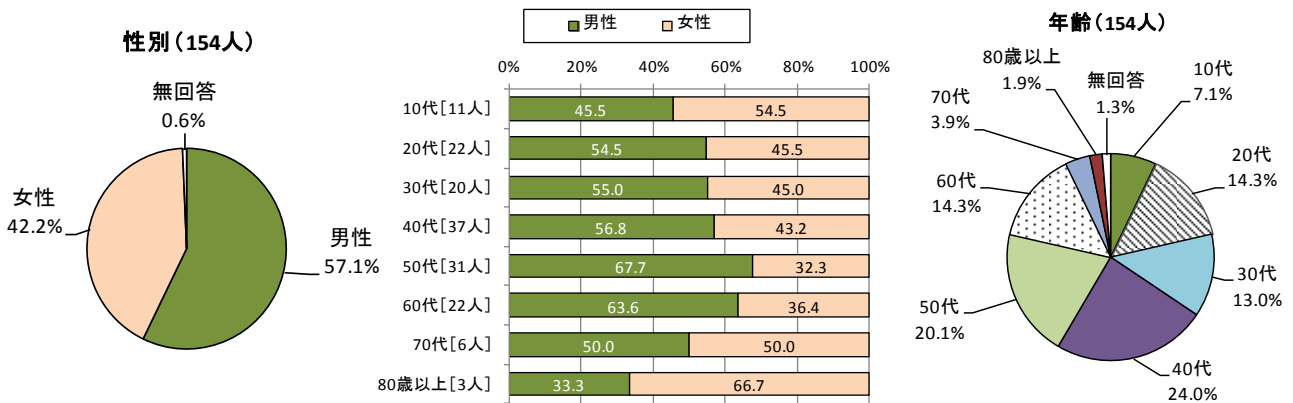
### (3) 来訪者アンケート調査

平成 28 年 2 月から平成 28 年 5 月にかけて、道の駅や宿泊施設などに滞在した方を対象に、清里町の観光に関するアンケート調査を行いました。調査の概要と調査結果については、次のとおりです。

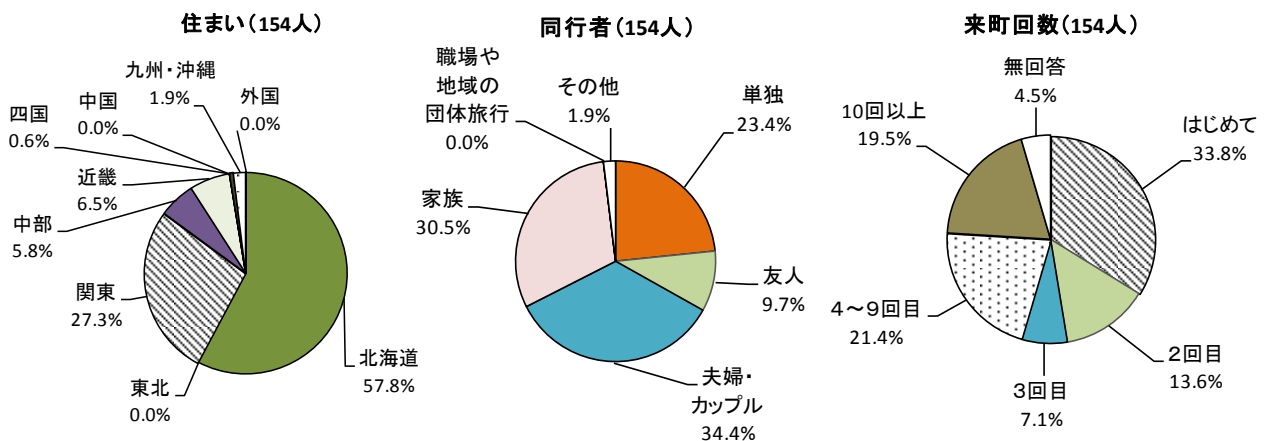
調査時期：平成 28 年 2 月から平成 28 年 5 月  
 回答者数：154 人  
 実施場所：道の駅（14）、緑の湯（11）、緑清荘（51）、ホテル清さと（39）、  
 ロッジ風景画（32）、清里イーハトーヴユースホステル（6）、  
 観光協会（1） ※（ ）の数字は回答者数

#### ① 回答者の属性

男性が約 6 割、女性が約 4 割です。年齢は、40 代（24.0%）が最も多く、50 代（20.1%）、30 代（13.0%）、20 代と 60 代（同率で 14.3%）と続きます。10 代と 80 歳以上は女性の割合が高く、70 代は男女同数です。

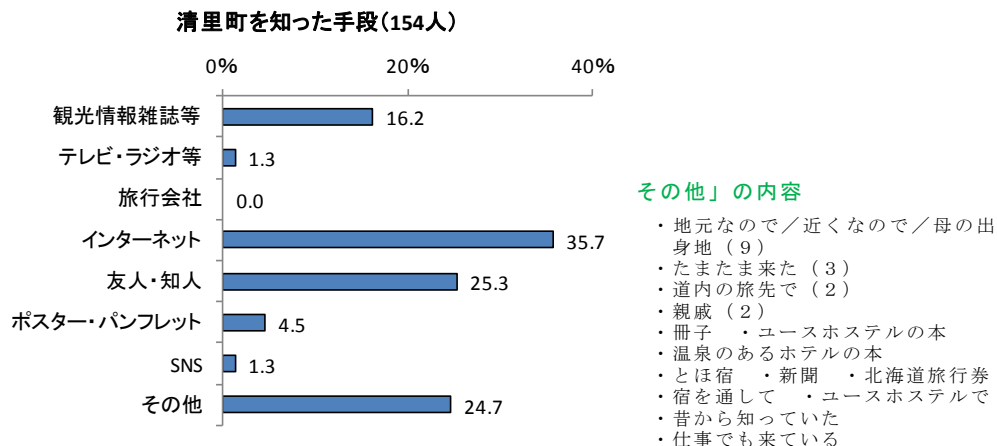


住まいは北海道（57.8%）が約 6 割を占め、関東（27.3%）が続きます。同行者は「夫婦・カップル」（34.4%）が最も多く、「家族」（30.5%）、「単独」（23.4%）と続きます。来町回数は「はじめて」（33.8%）が最も多いですが、次に多いのは「4～9 回目」（21.4%）、その次が「10 回以上」（19.5%）です。



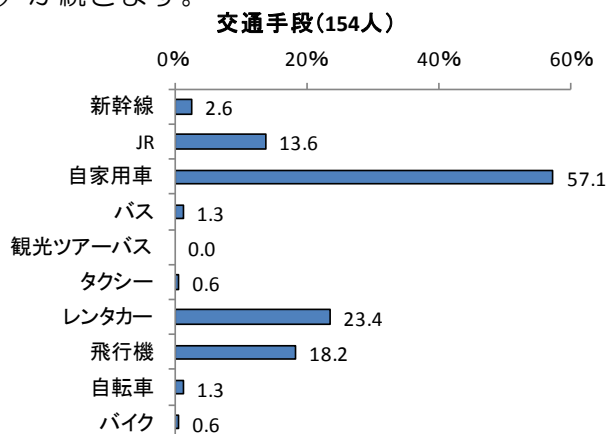
②清里町をどのようにお知りになりましたか？

インターネット（35.7%）が最も高く、友人・知人（25.3%）、その他（24.7%）が続きます。性別でみると、インターネットは男性が多いです。



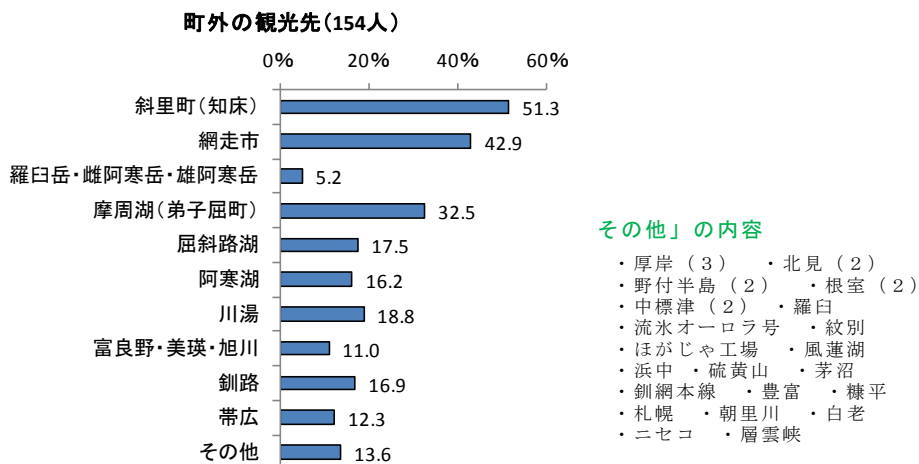
③どのような交通手段でいらっしゃいましたか？

「自家用車」（57.1%）が最も高く、「レンタカー」（23.4%）、「飛行機」（18.2%）、「JR」（13.6%）が続きます。



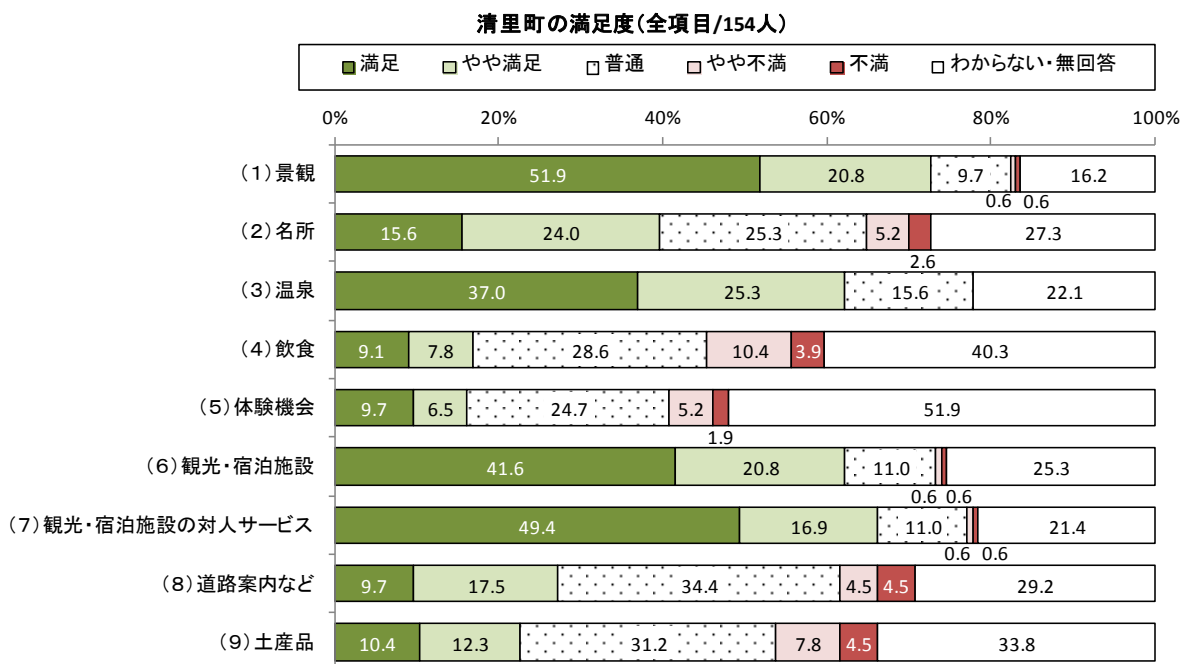
④清里町外で観光した（する予定）の場所はありますか？

「斜里町（知床）」（51.3%）が最も高く、「網走市」（42.9%）、「摩周湖（弟子屈町）」（32.5%）が続きます。



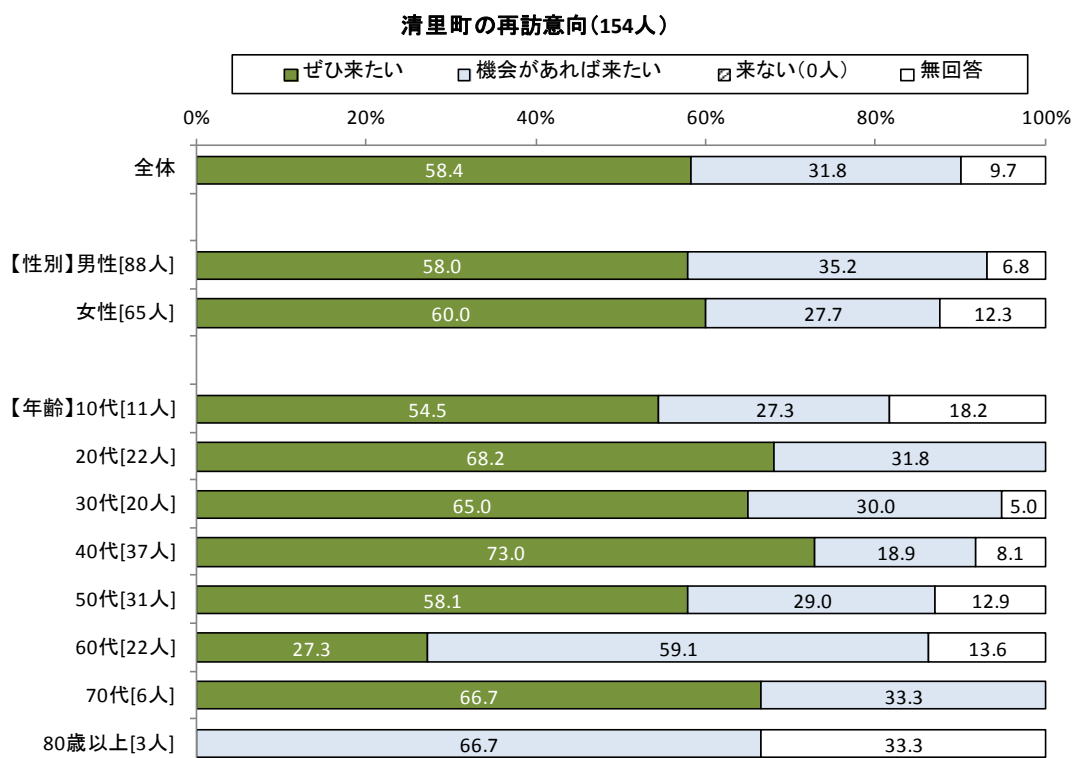
### ⑤清里町の観光についての満足度

「満足」が最も高かったのは「(1)景観」(51.9%)で、「(7)観光・宿泊施設の対人サービス」(49.4%)、「(6)観光・宿泊施設」(41.6%)が続きます。一方、「(4)飲食」や「(9)土産品」は「やや不満」と「不満」の合計が1割をこえます。



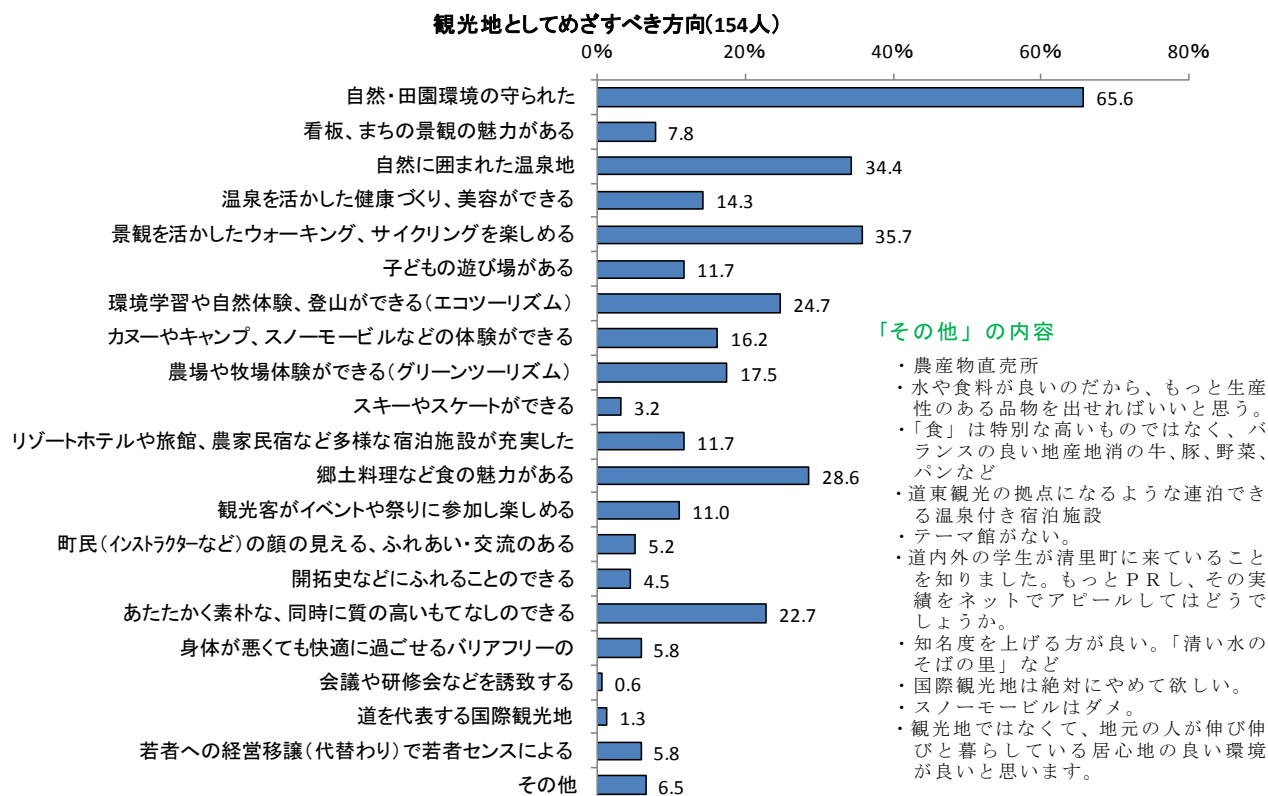
### ⑥また清里町を訪れたいと思いますか？

「ぜひ来たい」(58.4%)が約6割、「機会があればまた来たい」(31.8%)が約3割です。「来ない」という回答はありませんでした。



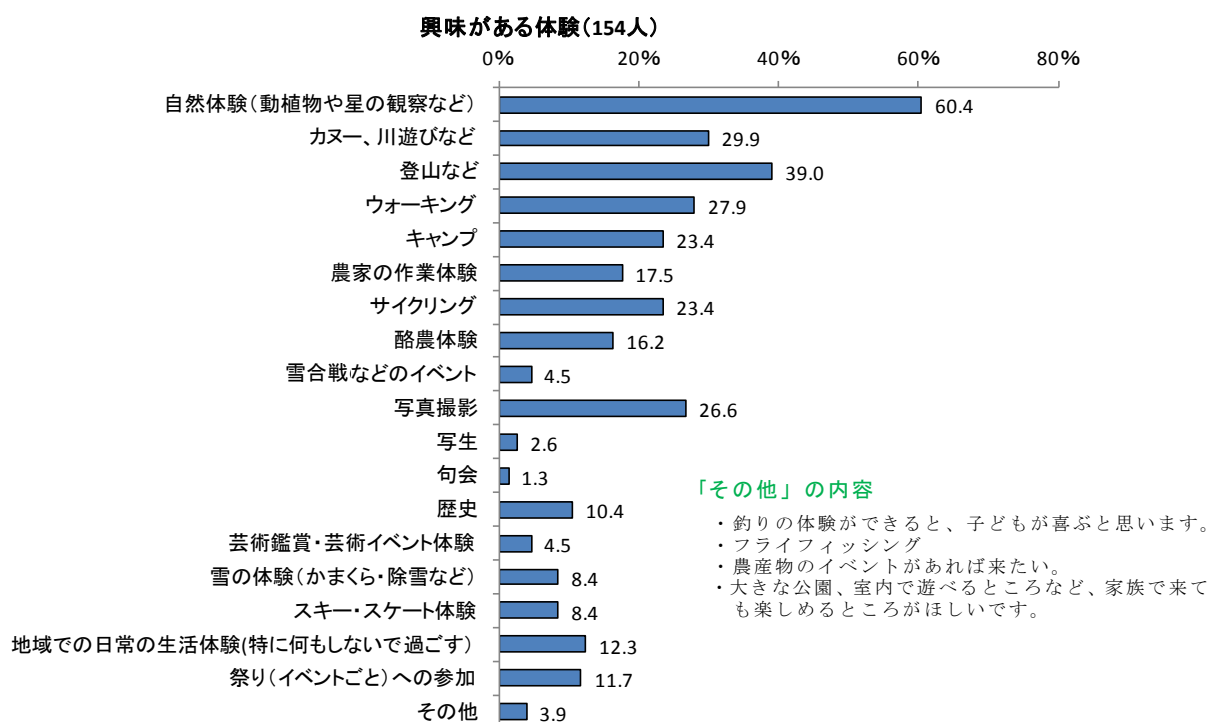
⑦清里町が観光地としてどのような方向をめざしたら良いと思いますか？

「自然・田園環境の守られた(まち)」(65.6%)が最も高く、やや間をあけて「景観を活かしたウォーキング、サイクリングを楽しめる」(35.7%)、「自然に囲まれた温泉地」(34.4%)、「郷土料理など食の魅力がある」(28.6%)、「あたたかく素朴な、同時に質の高いもてなしのできる」(22.7%)が続きます。



⑧どのような体験に興味がありますか？

「自然体験(動植物や星の観察など)」(60.4%)が最も高く、「登山など」(39.0%)、「カヌー、川遊びなど」(29.9%)、「写真撮影」(26.6%)が続きます。

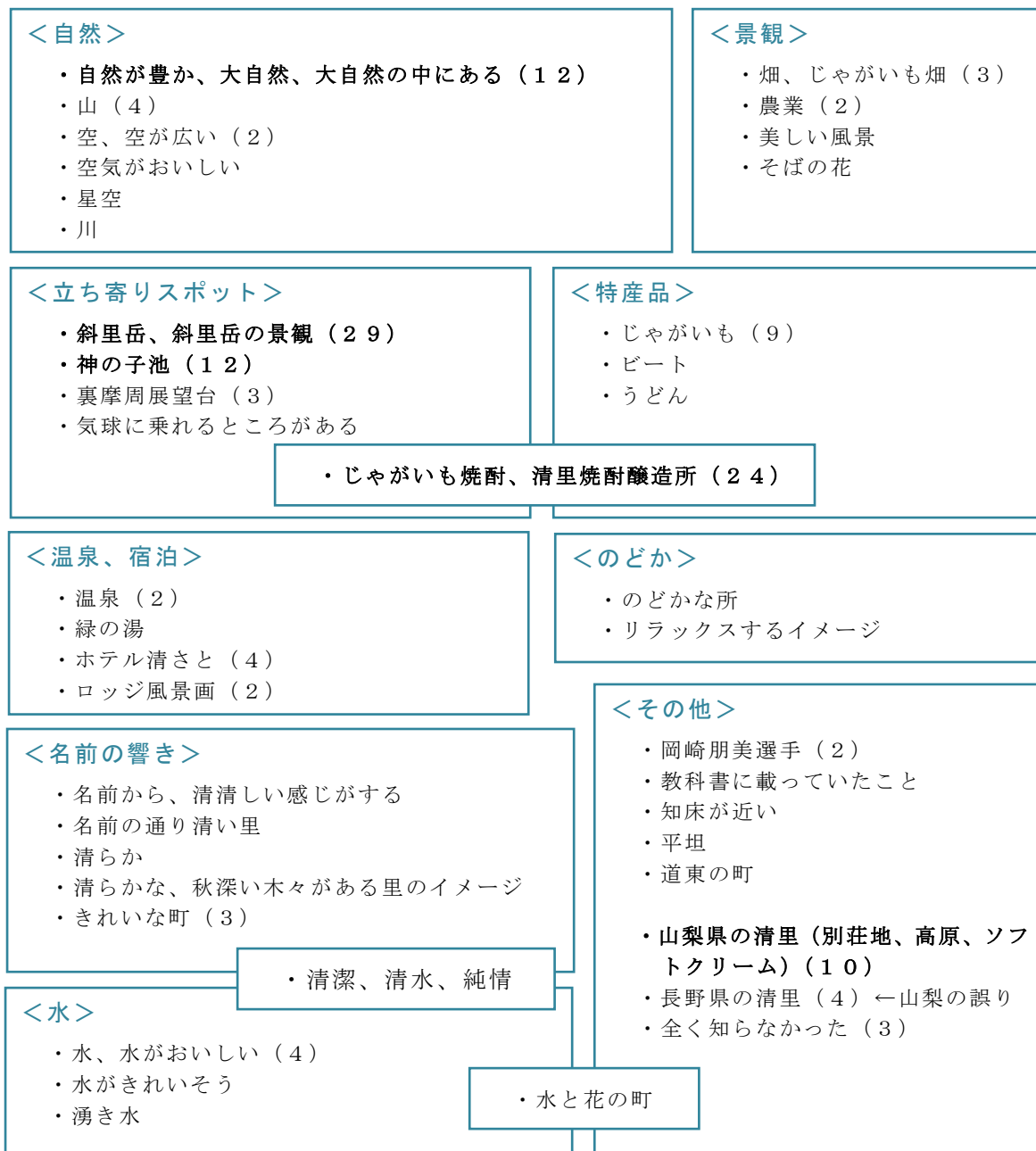


⑨「清里町」と聞いて思い浮かぶ言葉・イメージ

自然が豊かであるというイメージのほか、「斜里岳」や「神の子池」などの立ち寄りスポット、特産の「じゃがいも焼酎(清里焼酎醸造所)」などが多くあげられています。

「清里」という名前からは、良いイメージとしての回答があげられる一方、同名である“山梨の清里”を思い浮かべるとい回答も少なくありません。

※ ( ) 内の数字は回答数。太字は回答数が 10 以上あった具体的な内容。



⑩ほかの人に勧めたい清里町の魅力

自然や景観のほかに、神の子池や斜里岳などの立ち寄りスポット、温泉や宿泊・飲食に関すること（場所）、特産品などがあげられています。

また、何もなかったり静かなことも魅力としてあげられています。

※ [ ] や ( ) 内の数字は回答数。

立ち寄りスポット [24]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神の子池（13）</li> <li>・斜里岳、斜里岳の眺め（6）</li> <li>・さくらの滝（3）</li> <li>・裏摩周展望台（2）</li> </ul>
温泉、宿泊、飲食 [24]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温泉（5）</li> <li>・緑の湯（2）</li> <li>・ホテル清さと（5）</li> <li>・緑清荘（3）</li> <li>・緑清荘の料理</li> <li>・緑清荘の温泉と快適な部屋</li> <li>・緑清荘の清潔感や落ち着いた所を伝えたいです</li> <li>・ユースホステル</li> <li>・道の駅パパスランドさつつる（2）</li> <li>・良い宿がある</li> <li>・酒菜屋大田</li> <li>・おそばが美味しかった</li> </ul>
自然、景色 [16]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景色、景観の美しさ（6）</li> <li>・星空（4）</li> <li>・自然（2）</li> <li>・空が広く開放感たっぷり</li> <li>・広々とした風景</li> <li>・斜里岳の夕方の景色</li> <li>・美しい山々の姿</li> </ul>
特産品 [8]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・焼酎（2）</li> <li>・うどん（2）</li> <li>・小麦粉（きたほなみ）</li> <li>・山わさび</li> <li>・かぼちゃの種</li> <li>・しそシロップ</li> </ul>
何も無い、静か [6]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何も無いところ（2）</li> <li>・のんびりしているところ</li> <li>・都会の喧騒を離れてゆっくりできる</li> <li>・夜が静かで良い</li> <li>・斜里岳周辺の道道。静かでよい。</li> </ul>
体験 [4]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気球体験（3）</li> <li>・スノーシューツアー</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人</li> <li>・訪れたことのあるスポットはどこも大変良かった。きれいで、いくら居ても飽きません。</li> </ul>

⑪清里町の観光に関する意見や要望、不便や不満を感じたこと

情報案内がもっと欲しいという意見、交通手段（移動手段）の不便さなどが比較的多くみられます。

※（ ）内の数字は回答数。

	意見や要望	不便や不満を感じたこと
景観	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町営野球場のバックスクリーン後方にそびえる斜里岳がすばらしい。</li> <li>・町営野球場の後方にそびえる斜里岳をウリにして小中学生の野球・ソフトボールの合宿場所として全国に宣伝してはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・撮影ポイントに電線が多い。（仕方が無いが）</li> </ul>
情報案内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清里町自体が対外的にアピール（発信）する努力も必要ではないか？</li> <li>・さくらの滝、神の子池など清里町の良いところをもっとPR（広告塔を含めて）して情報を発信してほしい。</li> <li>・インターネットはもちろん、東京の観光案内所、どさんこプラザなどにパンフレットなど置いてほしい。</li> <li>・農産物が有名なので、もっと前に出した方が良い。清里農産物フェスタとかどどんやって、宣伝した方が良い。</li> <li>・中部方面にもっとPRしても良いと思います。女満別空港から近いと思う。</li> <li>・案内標識がもっとあると良い。</li> <li>・車で走りながらわかる道案内がほしい。</li> <li>・道案内、雪の状況などの情報を。</li> <li>・最近、中国や台湾、韓国、シンガポール等からの旅行者が北海道においても増加している。お風呂や室内のパンフレット等で、各国の言葉によるものを使ってはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路標識が不親切。</li> <li>・道路の曲がり角がわかりにくい。畑の中できれいに区画整理されているせいだと思う。カーナビを使っていたが、何度も通り過ぎてしまった。</li> <li>・案内窓口や現地でのガイド等が弱い。</li> <li>・ツアーがない。</li> <li>・「〇〇の丘、〇〇の木」など、（観光・撮影ポイントの）愛称がない。</li> </ul>
交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町バスを出すとか、タクシー会社と共同で観光プランを立てるかをすると良いと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道、バスが少ない、公共交通が不便（8）</li> <li>・車がないと動きにくい。</li> <li>・列車、バスの乗り継ぎが少し不便。</li> <li>・結局、マイカー、ライダー限定になってしまう。</li> <li>・冬の移動手段が少ない。道外の人にとってレンタカー等の車の移動はハードルが高い。</li> </ul>



	意見や要望	不便や不満を感じたこと
立ち寄り スポット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見どころが多く、満足。</li> <li>・観光バスが池のそばまで入って来ないような規制をしては。</li> <li>・キャンプ場に特徴、魅力を。星空や鱒でキャンパー、ルアー、フライフィッシャーマンが集まる町にしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光スポット（観て楽しむ場所）が少ないかも。</li> <li>・神の子池の環境の変化が気になりました。以前は観光バスなど入って来なかったのに、最近団体が押しかけてきて、池の水質も少し悪くなった気がする。</li> <li>・神の子池が観光地化されすぎた気がする。昔のひっそりとした感じの頃の方が良かったので。</li> <li>・公園が少ない、見当たらない、子どもが遊ぶところが少ない。</li> <li>・緑清荘の周囲に何もない。売店があれば良かった。コンビニもなかった。</li> <li>・お土産屋さんがもっとほしい。</li> </ul>
温泉 宿泊	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑清荘の部屋着がとってもくつろげた。ナイス！</li> <li>・他の宿泊地より施設の手入れが素晴らしい。（緑清荘）</li> <li>・パパスランドの温泉から斜里岳が見たい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温泉が豊富にあるが、趣に欠ける。</li> <li>・緑清荘のお湯が少し熱かった。</li> <li>・緑清荘の室内着（作務衣）の色など、もっと明るめにした方が良い。</li> <li>・緑清荘のお風呂をもう少し朝遅くまで使わせてほしい。（できれば 9:00 頃まで。）</li> <li>・緑清荘はとてもきれいで過ごしやすく良いのですが、名前から来るイメージとのギャップを感じる。名前だけ見ると古い民宿のように感じて写真を見ないと宿泊のチャンスを逃してしまっているのではと思う。</li> </ul>
施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の観光客が少ないのが良い。</li> <li>・特に「箱もの」を作る必要はない。</li> <li>・人寄せパンダ、箱物は必要ない。</li> <li>・あまり施設をこれ以上つくらないで。</li> </ul>	

#### (4) 現状と課題の分析

より具体的な現状と課題については、「Ⅱ 計画の内容」に示しますが、清里町の観光のあり方を考えるうえで現状と課題をまとめると、次のとおりです。

＜SWOT分析による清里観光の特性＞ ★はアンケート結果からもみられる傾向

清里町（内）のこと		
	プラス面・優れている面	マイナス面・劣っている面
自然環境・景観	<ul style="list-style-type: none"> <li>・網走と知床、阿寒・摩周という、大きな観光地の間に位置する。</li> <li>・斜里岳、神の子池、さくらの滝など固有の観光資源がある。</li> <li>・豊かな自然環境に恵まれている（川、滝、動植物など）。</li> <li>・自然環境を活かし、体験メニューを増やしていくことが可能である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客や車両の増加によって、神の子池やさくらの滝などの環境変化が懸念されている。</li> <li>・神の子池やさくらの滝、裏摩周展望台など町内の観光ポイントは、その場で経済効果を高めることができない。</li> </ul>
農業・花景観	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農村の風景（畑の景観）、まちなかの花の景観が美しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業者の多いまちであるが故に、地域住民の観光への関心は高くない。</li> <li>・畑（付近）に立ち入ったの撮影などで、農業に悪影響も出ている。</li> <li>・観光客がまちなかに来ることは少なく、花の景観に触れることは少ない。</li> </ul>
施設・店	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 3か所の温泉、多様なタイプの宿泊施設があり、それぞれ評価が高い。</li> <li>・体育館や野球場などのスポーツ施設のほか、パークゴルフ・オートキャンプ場などの施設が充実している。</li> <li>・平成 28 年に情報交流施設「きよ～る」がオープンし、観光拠点として期待されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来訪者は夏期に集中し、宿泊施設の稼働も高いが、冬期は低く、季節による差が大きい。</li> <li>★道の駅、きよ～る以外で来訪者が買い物をするのが少ない。観光客向けの販売を行っている店が少ない。</li> </ul>
お土産	<ul style="list-style-type: none"> <li>★「清里といえばじゃがいも焼酎」というイメージが定着している。</li> <li>・農作物が豊富なので特産品や食に結びつけることが可能。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★飲食や土産品に不満を感じている観光客が少なくない。</li> </ul>
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>★「清里」という名前のイメージ、ひびきが良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光地としての知名度やイメージが弱い。</li> <li>★町内における案内板、誘導板などが少なく分かりづらい。</li> <li>★山梨にも「清里」があり、そちらの方が知られている。</li> </ul>

その他

<ul style="list-style-type: none"> <li>・多彩なイベントが開催されており、近年ではランニングやサイクリングの競技会場としても定着している。</li> <li>★固定客やリピーターが比較的多く、「また来たい」という来訪者も多い。</li> <li>・リピーターの中には居心地やもてなし、人とのふれ合いを楽しみに来る人も少なくない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・網走と知床に滞在する時間は長いが、清里に滞在する時間は短く、来訪者の町内滞在による経済効果が低い。</li> <li>★公共交通の利便性が良いとはいえない（マイカーありきの交通）。</li> </ul>
--	---

清里町を取り巻く外部環境のこと

清里町にプラス・追い風的な面

清里町にマイナス・向かい風的な面

北海道観光をとりまく環境

<ul style="list-style-type: none"> <li>・「阿寒摩周国立公園」への改称及び国立公園区域の拡張の動きもあり道東観光の広域連携が強化されている。</li> <li>・JAが地域の食との関係強化するための取り組み（サポーター550万人づくりなど）を進めている。</li> <li>・道内7空港の一括民営化が進み、活性化が期待されている。</li> <li>・北海道には「食」と「景観」を期待して観光に来る人が多い。</li> <li>・北海道では、外国人の来道者数(実人数)を平成32年度に300万人以上とすることを掲げ、推進している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JR 釧網線（網走～釧路）の経営状況が厳しく、利便性の向上が難しい状況である。</li> </ul>
---	--

観光ニーズ・その他

<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光形態の多様化（団体旅行から家族・小グループ旅行へ、パッケージ型の旅行から自分で組み立てる旅行へ）が進んでいる。</li> <li>・観光ニーズの多様化、個別化（有名観光地志向から私の好きな観光、オンリーワン志向、マニア志向）が進んでいる。</li> <li>・モノ消費（買物）だけでなく、コト消費（有意義な時間、体験など）を求める人が増えている。</li> <li>・ウォーキングやサイクリングなど健康づくりを兼ねた観光が人気である。</li> <li>・中高年観光客やアクティブシニアが増えており、観光を牽引している。</li> <li>・グローバル化、情報化が進展しており、インターネット活用による多様な情報発信が可能になっている。</li> <li>・訪日外国人が増加している。</li> <li>・『パワースポット』ブームで、それを目的に観光する人が増えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内で、人口減少、高齢化が進み、観光客の減少、観光業の担い手不足などが懸念されている。</li> <li>・観光地同士の競合が激化している。（魅力の明確化・差別化、イメージアップ、情報発信、誘客活動の強化・充実の必要性）</li> <li>・地域ぐるみのホスピタリティが重要な要素となっている。（おもてなしの必要性）</li> <li>・長期的な観光振興の視点から、ファンやリピーターを持ち増やしていくことが重要とされている。</li> <li>・農業を取り巻く動向について不透明な部分があり、農業地域では、地域経済の低下が懸念されている。</li> </ul>
--	---

### 3 清里町の観光がめざすもの

#### (1) 清里町での滞在を楽しむ人に来てもらう

- 清里町の観光資源は、四季折々の自然や景観、のんびりとした雰囲気、温泉や居心地の良い宿などであり、時間をかけて楽しんでもらう観光スタイルに適しています。そこで清里町の観光では、「清里町での滞在を楽しみたい」という人をメイン・ターゲットとします。
- 来訪される方々の目的や季節、年齢や体力、滞在できる時間などは異なりますが、季節に応じた魅力をできるだけ幅広く提供することで、まちの人ともふれ合いながら、清里での滞在を楽しみ、心も体もリフレッシュできて、その結果、「何度でも、違う季節にも訪れたいような町」になることをめざします。
- 清里を気に入ってくれた人達が他の方々に清里町を紹介してくれることで、新たに清里を訪れる人も増えていくという、「清里町ファン」(リピーター)による口コミの好循環を生み出していくことをめざします。
- 自然とふれ合いながら滞在を楽しんでもらうためには、体験型の観光メニューがあることが重要です。世界自然遺産や国立公園等に隣接し、それらに負けない豊かな自然環境を有している本町では、世界自然遺産エリアや国立公園内では規制されてできない体験を観光メニューにすることが可能です。「ワイズユース(自然を持続的に利用する)の考えを大切にしながら、清里ならではの体験・体感ができる町」をめざします。

#### (2) 「自然保護と経済好循環の共生」をめざす

- 斜里岳登山や景観鑑賞、神の子池やさくらの滝などを訪れる観光客が多い本町にとって、自然は重要な観光資源であり、アンケート結果でも「自然・田園環境の守られた(まち)」が観光客から望まれています。
- 自然を活かした観光を振興するうえで、その保全は重要な課題ですが、近年、神の子池やさくらの滝が知られるにつれて、来訪者が増加し、周辺環境の悪化をはじめ、池や滝そのものへの影響が、町内・観光客双方から懸念されています。増加する来訪者、車両などによって環境への負荷が大きくなるように、「適切な保護のあり方を考え、対応していく」ことが必要です。その一方で、環境保護にかかる財源の確保、観光による経済効果をふまえて、神の子池やさくらの滝など自然環境から生まれた観光ポイントへの来訪者を、(1)で示した「滞在」に結びつけ、「経済の好循環を生み出していく」ことをめざします。
- 斜里岳登山も含め、自然の美しさにひかれてくる来訪者の中には、自然保護に関心を持つ人も少なくありません。町外の「清里ファン」とともに、貴重な自然や景観を守り、より美しく価値のあるものにしていくことができると考えます。神の子池やさくらの滝などの環境保護、斜里岳登山道の整備などに関心を持ち、それらの活動に参加する人達が町外からも増え、「自然を愛する人達に愛される町、自然を愛する人達とともにつくる観光地」をめざします。

### (3) 「地域産業との共生」をめざす

- 広大な農村風景は大自然が生み出す「手つかずの自然」とともに、「人の手による景観」として、町を代表する観光資源となっていますが、鑑賞や写真撮影のために畑に近寄ったり侵入したりする人もおり、農業者との間に摩擦も生じています。観光客と農業者双方に理解を促し、農業と共生した観光地づくりを進めます。
- 清里町の代表的な農作物であるじゃがいもを使った焼酎が土産品として定着し、清里産小麦を使った商品開発やメニュー開発も進んでいます。しかしながら、特産品以外での観光と農業の接点がありません。観光と商業の接点についても、神の子池やさくらの滝を訪れる人が増加する一方、地域商店の売上増加にはつながっておらず、観光客は食やお土産については満足していないのが現状です。観光と地域産業が相互に理解・連携することにより、新たな観光メニューや商品開発、食などを生み出し、観光地清里としての満足度を向上させることをめざします。そして、景観だけでなく「あれが食べたい」「あれを買いたい」という観光客が増え、地域産業全般が活性化するとともに、清里町の名前が広がることで、町外における農作物の流通・販売にも好影響を与えるようになることをめざします。

### (4) 滞在から新たな人の輪、力へとつなげていく

- 清里町が、「滞在するまち」として魅力的だと思われることは、「住むまち、子育てするまち」としても魅力的だと思われる可能性があります。全国で進む少子化・高齢化、過疎化の進展は清里町にも深刻な影響を与えており、町外から新たに転入する人を増やしていくことは、重要なまちづくり課題となっています。観光や保養、スポーツやアウトドア活動、創作活動、イベント参加などの目的で清里町に滞在してもらうことで、清里町のさまざまな魅力を伝え、その延長線上として、二地域居住者や定住者を増やしていくこともめざします。
- 観光地、定住地としての魅力を高めたり、観光客のニーズにこたえていくためには、多くの住民（事業者を含む）の参加・協力が不可欠であるほか、外部からの「新たな力」をうまく取り入れていくことも必要です。清里観光の魅力向上に貢献してもらえる人材を確保・育成するとともに、移住者や外部企業なども含む町内での起業、創業を促すことなどにより、「新たな力」を育み、多様な担い手による観光地づくりをめざします。

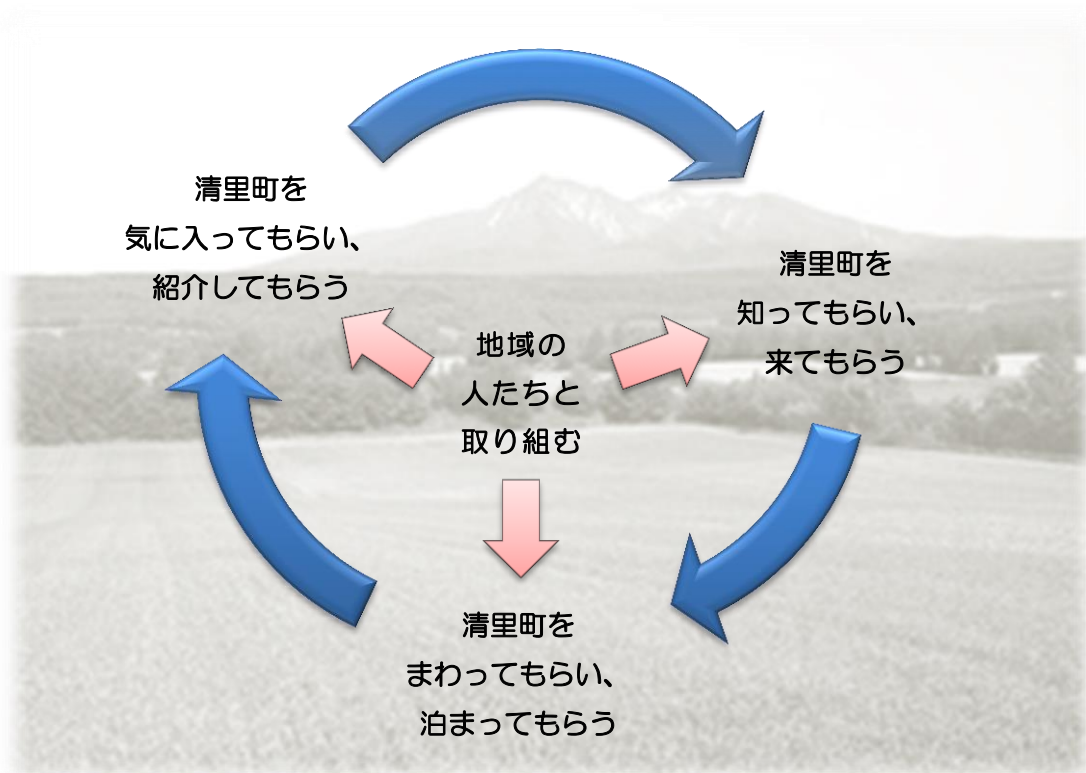
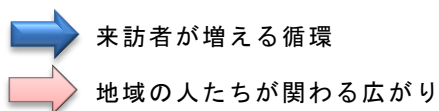
## Ⅱ 計画の内容

清里町の観光を振興するうえで、まず「清里町を知ってもらい、来てもらうこと」、そして、訪れた人たちに「清里町をまわってもらい、泊まってもらうこと」、さらには「清里町を気に入ってもらい、他の人たちに紹介してもらうこと」が必要です。これらのことが同時に進むことによって、来訪者の循環が生まれ、清里町を訪れる人たちが増えていくことをめざします。

また、これらを進めていくためには、地域に住む人たちが「一緒に取り組むこと」が必要です。清里町の観光振興に関心を持ち、さまざまな形で関わりを持つ人が広がっていくことをめざします。

この計画では、来訪者が増える好循環を生み出し、地域の人たちの関わりを広げていくために、4つの柱にそって取り組みを示します。

### 清里町の観光がめざす循環と広がりイメージ



## 1 清里町を知ってもらい、来てもらう

清里町の観光資源がどんなに魅力的でも、清里町というまちの存在や、魅力的な観光資源があることを知ってもらわなければ、来訪者を増やすことはできません。

さまざまな機会や媒体を通じて、清里町と、清里観光の魅力を国内外の人たちに広く伝えることにより、ぜひ行ってみたいと思われるようにします。

## 2 清里町をまわってもらい、泊まってもらう

せっかく清里町を訪れても、観光ポイントを手短にまわり、次のまちへと移動する観光客が少なくありません。

一瞬で魅了する数々の景観は、清里の魅力ですが、のんびり滞在することで感じる良さもあります。

清里での滞在を楽しむ人が増えるよう、時間をかけないともったいないと思われる観光ポイントづくりはもちろん、食や宿泊でのもてなしも含めて、是非立ち寄りたいたいと思われる立ち寄りスポットを増やし、町内での滞在を促すようにします。

## 3 清里町を気に入ってもらい、紹介してもらう

一度、清里町を訪れた人の多くは、再び訪れたいと思ってくれます。美しい風景は、写真とともにインターネット等を通じて紹介されることも増えており、その結果、さらなる来訪者を誘引する大きな力となっています。

清里町を気に入ってくれた人たちの再訪を促すとともに、清里ファンやリピーターとなってくれるようにします。また、それらの人たちが清里の魅力を紹介したいと思えるようにします。

## 4 地域の人たちと取り組む

日ごろ観光客との関わりが深い人たちだけでなく、イベントの際の手伝い、ボランティアスタッフ、地元の知恵やアイデアが詰まったお土産づくりなど、清里に住む多くの人たちの協力が不可欠です。

町全体で観光に対する理解と連携を深め、多様な担い手を増やし、清里町の観光を盛りあげます。

# 1 清里町を知ってもらい、来てもらう

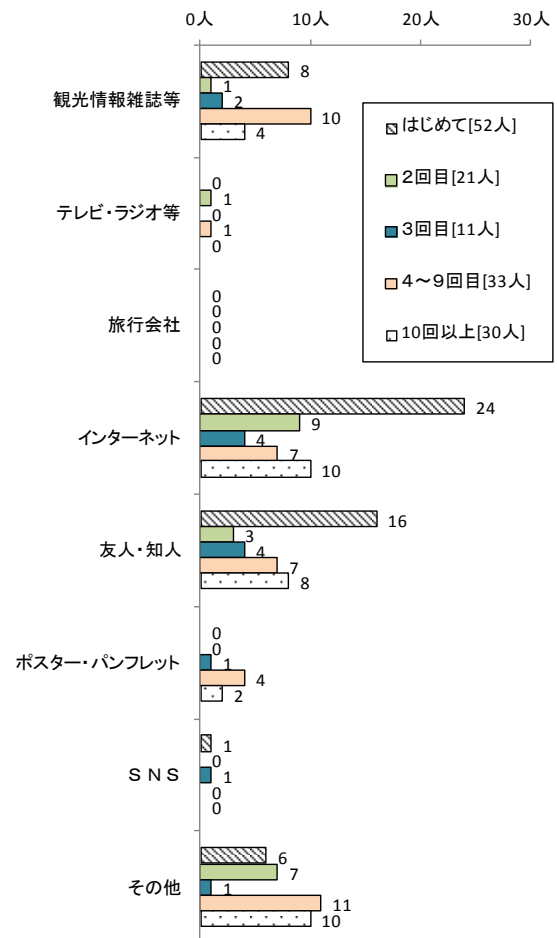
## <現状>

- ・斜里岳登山をはじめとするアウトドアレジャーや自然・農村景観、温泉などを求めて清里町を訪れる人、イベント参加者などは一定の人数がいますが、全体として、「観光地・清里」としての認知度は高い状況ではありません。近年、神の子池やさくらの滝がマスメディアやインターネットを通じて紹介されるようになり、スポット的な観光客の増加は見られますが、それが町全体の認知度や集客力の向上に十分には結びついていない状況です。
- ・昭和 50 年から製造・販売を続けているじゃがいも焼酎は、清里町のPRに大きく貢献しています。近年、イベントなどを通じて町外で清里町をPRする機会も増えていますが、清里焼酎に続く、情報発信力の高い特産品が誕生するまでにはいたっていません。
- ・そのようななか、平成 28 年 10 月に「日本で最も美しい村」連合に加盟したことを契機に、清里町の美しい景観が全国規模でより広く知られることが期待されています。

## <必要なこと>

- 清里町は、斜里岳をはじめ、裏摩周展望台、神の子池、さくらの滝など、自然が生み出す希少性の高い観光ポイントや資源が豊富にあります。
- 清里町に魅力を感じ来訪する人を増やしていくためには、清里町固有の魅力をリアルに、そして効果的に伝えていくことが必要です。
- 清里焼酎を含め、農産物や食、町内で開催されるイベントなど、清里の魅力を広く発信することにより、単に「見る」だけではない、多様な観光行動を促していくことが必要です。
- 来訪者アンケート※によると、清里町を知った手段としては「インターネット」が多く、特に初めて訪れた人からの回答が多くなっています。映像や動画を通じて広く情報発信できるインターネットを積極的に活用していくことが必要です。

【来訪者アンケートより】清里町を知った手段  
(来町回数別)




※来訪者アンケートの詳細は、2の「(3)来訪者アンケート調査」をご覧ください。



- ・特に推進する内容、期間については「⇒」で示しています。
- ・観光協会（観協）、町、民間のどこが主に取り組むのか、●で示しています。

## <取り組み内容>

### (1) 町外でのPR、広域的な視点でのPRを行う

- 町外で開催されるイベント、PR企画などに参加し、「観光地・清里」をPRする。
  - ・北海道のアンテナショップ等でのPR
- 清里町の観光パンフレットの配備箇所を確認し、より効果的な配布に努める。
- 広域的な地図では、清里町へのルート案内を記載するよう働きかける。
  - ・「阿寒摩周国立公園マップ」など広域地図への働きかけ
- 町のキャラクター「きよっぴ」を活用する。
 
- 清里町のイメージを効果的に伝える取り組みを進める。
  - ・清里町の観光のキャッチフレーズ、ロゴマーク、シンボルマークなどの制定、普及
  - ・「日本で最も美しい村」連合の一員であることのPRと清里観光イメージとの整合
- マスメディアを有効に活用して「清里町」をPRする。
  - ・マスメディアへの情報提供の強化
  - ・マスメディア等を活用した広告宣伝の推進

H29	30	31	32	33	観協	町	民間
→	→	→	→	→	●	●	●
⇒	→	→	→	→	●	●	
⇒	→	→	→	→	●	●	
→	→	→	→	→			●
⇒	→	→	→	→	●	●	●
→	→	→	→	→	●	●	

### (2) アピールポイントをいかした、情報発信を行う

- 希少な自然と景観、年ごと・四季ごと・日ごとに変わる風景など、視覚的に印象に残る観光資源を、写真や動画などを活用し、効果的にPRする。
  - ・インターネット上でのリアルタイムな情報発信（斜里岳の景観、雲海の状況、サクラマスの上り状況、花の開花状況、畑の状況など）
- 町内に3つある温泉、いろいろなタイプの宿、景観が美しいキャンプ場など、宿泊や温泉の選択の多様性をPRする。
  - ・斜里岳が見える部屋のPR
  - ・優れた景観が楽しめるキャンプ場のPR
- 清里町の自然のなかで楽しめる体験メニュー、ガイドツアーなどをPRする。
  - ・魅力ある体験メニューを紹介する情報ツールの整備

H29	30	31	32	33	観協	町	民間
→	→	→	→	→	●	●	●
→	→	→	→	→	●	●	
⇒	→	→	→	→			●

### (3) ターゲットを意識した、情報発信を行う

- 周辺を観光している人に向けて、清里へのルート・アクセスを積極的に明記する。
- ターゲット別の情報発信を行う。
  - ・ 自然観察、登山、写真、絵、自転車、マラソン、バイク、鉄道利用者、温泉愛好家など
- スポーツ合宿関係者に向けて、合宿の環境や設備とともに、風景の美しさなど清里ならではの良さをPRする。
  - ・ 利用可能な施設の洗い出し
  - ・ スポーツ合宿を受け入れる場としての環境づくり

H29	30	31	32	33	観協	町	民間
→	→	→	→	→	●	●	
→	→	→	→	→	●	●	
→	→	→	→	→		●	

### (4) 清里町に来てもらう企画をつくる

- 既存イベントを通じて誘客を促す。
- 近隣自治体等や民間企業と連携・タイアップし、観光客を誘致する企画に取り組む。
  - ・ JRと「国立・国定公園を鉄道でめぐる旅」を企画
  - ・ テーマを絞ったツアー、テーマ旅行の誘致

H29	30	31	32	33	観協	町	民間
→	→	→	→	→	●	●	
→	→	→	→	→		●	●

#### 重点的に進める内容

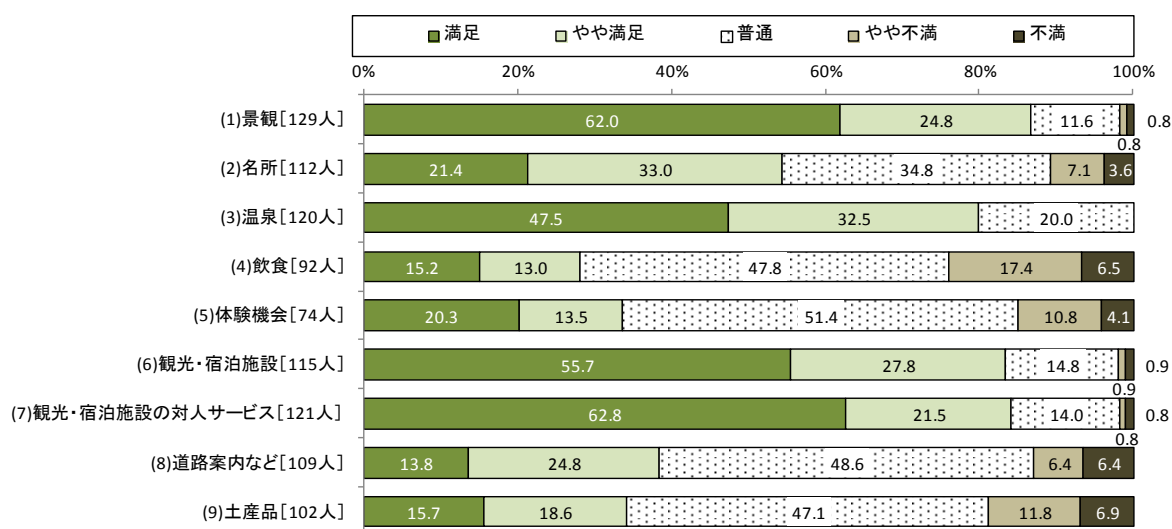
- ・ 「観光地・清里」をより多くの人たちに知ってもらうため、情報発信の強化に努めます。豊かな自然、美しい景観など、行ってみたい、観てみたい、写真に撮ってみたいと思わせる情報を積極的に発信します。
- ・ 「日本で最も美しい村」連合に加盟したことを活かし、全国的な情報発信を行います。
- ・ 道内、道外からの清里町までのアクセスを分かりやすく情報発信します。
- ・ 1年を通じて多くの方に来てもらえるよう、季節ごとの風景の違い、楽しみ方があることを情報発信します。(四季の魅力を明確にし、アピールします。)

## 2 清里町をまわってもらい、泊まってもらう

### <現状>

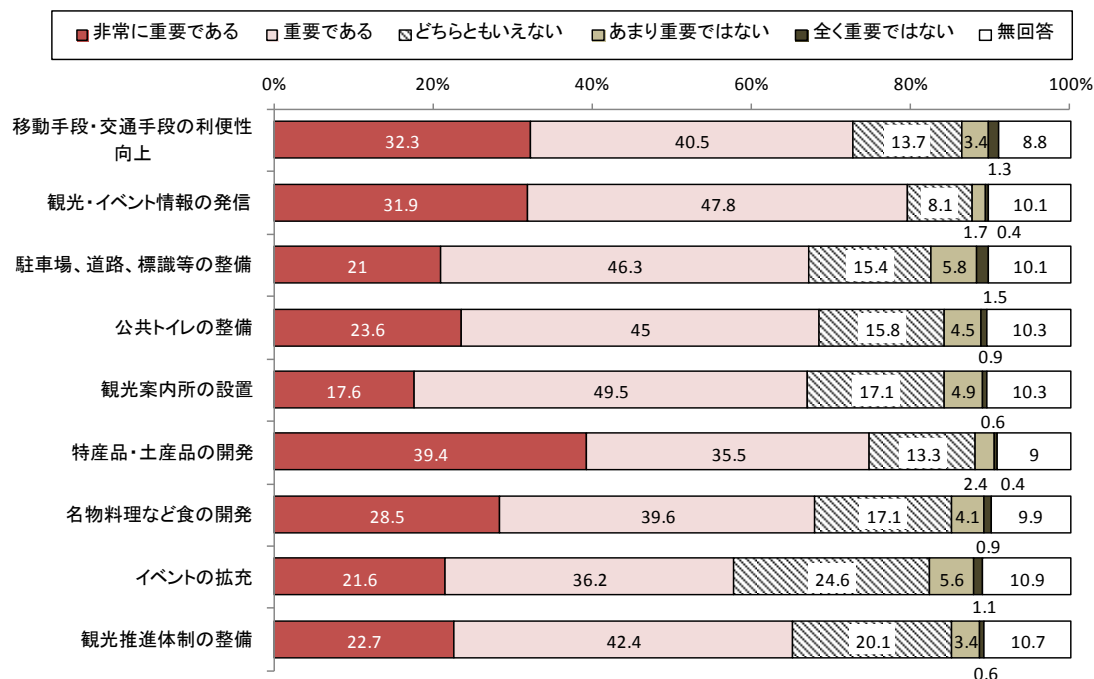
- 一部を除き、清里町を訪れる多くの方は、宿泊を伴わず、観光ポイントを車で巡ってそのまま町外に移動する通過型観光を行っており、神の子池やさくらの滝、裏摩周展望台などの滞在時間は比較的短い状況です。
- 近年、来訪者が増加している神の子池やさくらの滝では、駐車場やアクセス道路とともに、トイレや休憩場所など滞在に必要な環境整備を求める声が高まっています。一方、環境への影響も懸念されており、整備のあり方が課題となっています。
- 主な観光ポイントは、町内に点在しており、それらを巡るためには、場所の情報と交通手段が必要です。現状として、案内表示が少ないため標識などを増やしてほしいという声も少なくありません。また、さくらの滝でのサクラマスの遡上の様子、毎年、四季折々に変化する自然や畑の景観など、現在の状況を事前に（リアルタイムに）知りたいという声も聞かれます。交通手段については、現状の公共交通を利用して観光ポイントを巡ることは難しい状況です。
- 近年、キカラシなど畑の風景を目的に来る人が増えています。中には、畑に近づいたり、中に入って撮影しようとする人も増えており、畑の環境を守るため、見学・撮影のマナーを守ってもらうことが必要です。
- 滞在時間を延ばすには、買い物や食事を楽しむ場を増やしたり、宿泊を促すことも重要ですが、現状では町内で食事や買い物を楽しむ観光客は少ない状況です。
- 町内には、タイプの異なるさまざまな宿泊施設がありますが、全体的に宿泊は夏期に集中し、冬期に宿泊する観光客は少ない状況です。
- 町内には、各観光ポイントを巡ることができる公共交通網はなく、JRで町内に立ち寄った人たちは、時間があっても観光をあきらめるケースが少なくありません。
- 来訪者アンケートで観光に関する満足度を尋ねたところ、景観や温泉、宿泊施設関連については満足度が比較的高いものの、飲食や道路案内、土産品などについては不満という回答が他の項目に比べて高くなっています。

【来訪者アンケートより】満足度（無回答を除いて集計）



- 平成 27 年に実施した住民アンケート※で、観光振興の取り組み重要度について尋ねたところ、すべての項目で「非常に重要である」もしくは「重要である」との回答が過半数を占め、中でも、特産品・土産品の開発や移動・交通手段の利便性向上、観光・イベント情報の発信については「非常に重要である」が3割以上を占めるなど、重視されていることが伺えます。

【住民アンケートより】観光振興の取組み別重要度（467人）



※住民アンケートは、町内在住の18歳以上の方1,000人を対象に平成27年6～7月に実施し、467人から回答を頂きました。

### <必要なこと>

- 町内には、是非観てみたいと思われる絶景スポットがありますが、滞在したいと思われるスポットは少ない状況です。今ある各スポットで滞在を楽しんでもらう工夫とともに、さまざまな体験やアウトドア活動、食事、買い物などができる滞在スポットや企画を増やしていくことが必要です。
- 点在する観光ポイントまでのアクセス情報が得にくいという声が多く、道路状況や季節ごとの留意点なども含め、その場所までの案内情報を丁寧に伝えることが必要です。
- 豊かな自然や美しい風景を、時間をかけて楽しんでもらいたいという声がある一方で、畑への侵入、自然環境への負荷などへの懸念もあります。滞在を促す環境整備とともに、自然や畑の環境を守る必要性を来訪者に伝え、理解や協力を促すことが必要です。
- 冬でも楽しめる観光を企画するとともに、冬の宿泊を促していくことが必要です。
- 列車やバスなどで訪れた人たちが町内で観光を楽しめる移動手段が必要で

<取り組み内容>

(1) 滞在を促す情報を提供する

- 町内周遊を促す情報を提供する。
  - ・サイクリングコース・マップづくり
  - ・ランニングコース・マップづくり
  - ・体験プログラムを集めたメニュー一覧づくり
- 撮影ポイントに関する情報を提供する。
  - ・風景だけのほか、風景+建物での撮影ポイントなど
  - ・ホームページ等から撮影ポイントを情報発信

H29	30	31	32	33	観協	町	民間
⇒→→→→ コース づくり					●	●	
⇒→→→→ 情報収集 P R					●	●	●

(2) 観光情報をていねいに伝える

- 統一感や外国語併記もふまえたうえで、各観光ポイントまでの道案内を示した標識や説明看板などを増やす。
  - ・看板等のデザインや表記方法、配置などに関する統一ルール（サイン計画）づくり
  - ・広域的な移動に配慮した看板等の整備
- スマートフォンなど観光客が持つ情報端末で情報が得やすいようにする。
  - ・QRコードの効果的な活用、そのための環境整備
- きよ〜るで観光に関する総合的な情報提供を行う。
  - ・観光ポイントの最新情報の提供（さくらの滝、畑の風景）
  - ・おすすめの観光・撮影コースの案内
  - ・最新の道路情報の提供
  - ・体験メニュー、ガイドツアーなどの案内
- 観光時に留意してほしいことを伝える。
  - ・写真撮影等に伴う農業や交通安全面に対する意識啓発、情報提供
  - ・自然環境保全に対する意識啓発、情報提供
- 商店街など町内の店舗でも観光情報を得られるようにする。
  - ・店舗の協力による、マップ、おすすめコースの町内配備箇所の拡大
- 通信環境の整備を促進する。
  - ・通信事業者による通信エリア拡大の要請（神の子池など）
  - ・公衆無線LAN（Wi-Fi）スポットの整備促進

H29	30	31	32	33	観協	町	民間
⇒⇒→→→ 計画 整備 増設						●	
⇒⇒→→→ 情報 推進 収集						●	
⇒⇒⇒⇒⇒					●		
⇒→→→→ ルール 徹底 づくり					●	●	●
⇒→→→→ 協力店舗 さがし						●	●
→→→→→						●	●

### (3) 滞在を促す企画を増やす

- 夜や朝にしか体験できない、泊まらないともったいないと思わせる企画を増やす。

- ・朝日や満月（月見）を楽しむ企画
- ・雲海ツアー
- ・宇宙展望台での夜星観察
- ・きよ〜るのテラスで結婚式

- ガイドとともに、じっくりと清里の自然を楽しむツアーを増やす。

- ・自然散策ガイドツアー
- ・魚を釣って食べるツアー
- ・畑のガイドツアー（収穫体験ツアー）
- ・とっておきの場所での写真撮影・絵画ツアー

- 町内にある温泉や食を使って、滞在を促す。

- ・温泉めぐり
- ・町内のお店（食）めぐり
- ・テイクアウト型の食の販売（でんぷん団子、じゃがバター、ワッフルなど軽食が買える茶屋）
- ・焼酎や清里の食が楽しめる場や企画（焼酎専門店、焼酎バル）
- ・焼酎に合う料理や土産品の開発
- ・サクラマスを使ったメニューづくり
- ・景色とともに食が楽しめる場の増加（バーベキュー、ジンギスカン）
- ・お昼から夜までの間に食事ができる場の増加
- ・おいしい朝食が食べられる場の増加
- ・宿泊施設における食事の魅力化、個性化

- 冬期に宿泊してもらおう企画を増やす。

- ・冬の観光メニューの充実（冬の神の子ツアーなど）
- ・お得に泊まれる（利用できる）割引企画

H29	30	31	32	33	観協	町	民間
⇒ → → → → 企画 推進 試行					●		●
⇒ → → → → 企画 推進 試行					●	●	●
→ → → → →						●	●
→ → → → →							●

### (4) 滞在を促す環境を整える

- 神の子池、さくらの滝、裏摩周展望台周辺の環境整備のあり方を定め、必要な整備を行う。

- ・トイレや管理小屋、展望場所の整備について
- ・導入路や駐車場、遊歩道の整備について
- ・有料化や協力金徴収などの検討
- ・バリアフリーのあり方の検討
- ・神の子池と裏摩周展望台を結ぶ散策路（林道）の整備について

- 写真を撮りたいと思うスポットを増やす。

- ・スポット名が分かる看板など撮影ポイントづくり
- ・沿道への駐車スペースの確保
- ・公共用地（町有地）などを利用した新たな花の名所づくり

H29	30	31	32	33	観協	町	民間
⇒ ⇒ → → → 検討 計画 推進・整備						●	
⇒ ⇒ → → → 発掘 整備						●	

●新たな観光ポイント探しや立ち寄りスポットづくりを行う。

- ・ふ化場の活用
- ・緑ダムの活用（湖面の利用、紅葉など）
- ・巨大迷路や花畑づくり
- ・動物とふれあえる場づくり
- ・男鹿の滝の保全と安全対策
- ・清らかな「水」が飲める（汲める）場所の設定

●まちなかに観光・滞在ポイントをつくる。

- ・まちなかの花壇を活用した撮影ポイントづくり
- ・通りに親しみやすいネーミングの設定
- ・まちなかにお土産や飲食料が買える場所、登山・アウトドア関連の店などの増加
- ・商店街の看板の統一的な整備

●公衆トイレや立ち寄りスポットの環境整備を進め、周遊に配慮した情報を提供する。

- ・観光ポイントにおける快適なトイレの整備、管理のあり方に関する検討
- ・民間事業所等のトイレ開放に関する調査
- ・観光客の周遊に配慮した「トイレマップ」の作成（バリアフリー対応の明記）

H29	30	31	32	33	観協	町	民間
⇒⇒→→→ 発掘・整備						●	●
→→→→→						●	●
⇒→→→→ 調査 マップづくり					●	●	

(5) 立ち寄りスポットをまわりやすいようにする

●自転車による移動支援を行う。

- ・各駅へのレンタサイクルの整備

●バスやタクシー、アウトドア事業者等と連携し、立ち寄りスポット間の移送体制を整える。

H29	30	31	32	33	観協	町	民間
⇒⇒→→→ 発掘・整備					●	●	
⇒→→→→ 検討後、可能なら実施					●	●	●

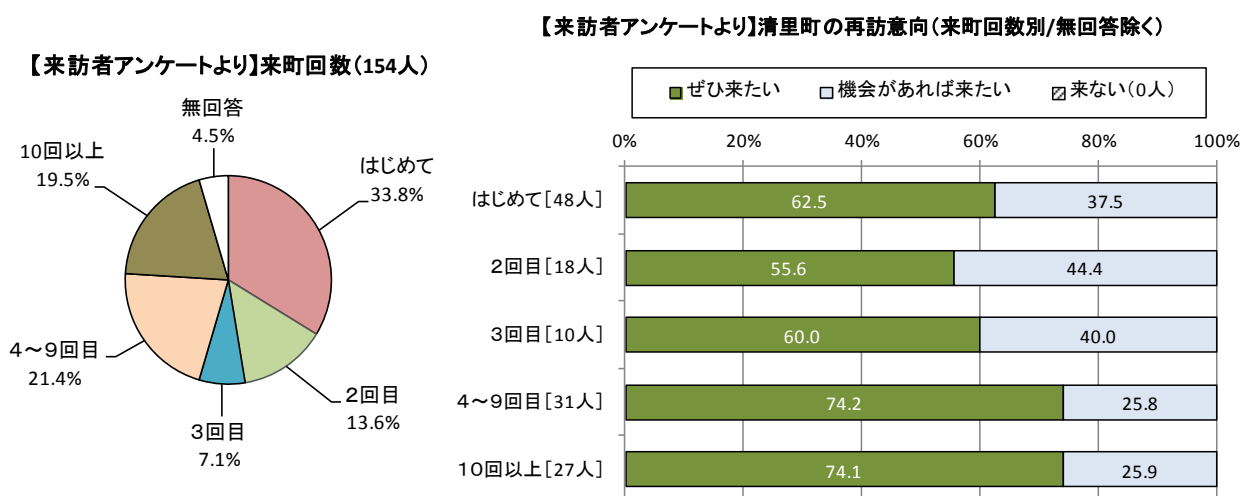
重点的に進める内容

- ・近年急激に来訪者が増加している神の子池、さくらの滝について、観光客の利便性と環境保護の双方の観点をふまえつつ、整備のあり方を決め、進めます。
- ・現状で観光客から不満の声を聞く「食」の充実をめざし、農業者や商工業者などと連携し、清里でとれるものや持つ技術を活かし、清里町内で味わえる料理や清里の食の魅力が伝わるお土産を増やします。
- ・特に町内で楽しめる料理については、滞在や宿泊を促す重要な要素であり、清里町の特産品として有名なじゃがいも焼酎との組み合わせ、現在積極的に進めている小麦の活用などを意識して取り組みます。

### 3 清里町を気に入ってもらい、紹介してもらおう

#### <現状>

- ・ 来訪者アンケートによると、清里町への来訪回数については、「はじめて」が約3分の1を占め最多ですが、「4～9回」や「10回以上」がそれぞれ2割前後を占めており、一定の割合でリピーターがいることが分かります。
- ・ 来訪者アンケートによると、清里町を知った手段としては「インターネット」が最多でしたが、次に多かったのが「友人・知人」であり、口コミによって清里町を知った人も少なくないことが伺えます。
- ・ 来訪者アンケートで清里町への来訪意向を尋ねたところ、「4～9回」や「10回以上」など来訪回数が多い回答者の方が、「ぜひ来たい」の割合が高くなっています。



#### <必要なこと>

- 清里町を訪れる人の中には、観光ポイントを訪れるだけでなく、景観を含めまちの雰囲気やゆっくり楽しんだり、地域の人との再会やふれ合いを楽しみに訪れる人たちも少なくありません。このような清里町のファン（リピーター）を大切にするとともに、清里町の魅力を他の人たちにも伝えてもらえるよう促していくことが必要です。
- はじめて清里町を訪れた人たちの多くが「また来たい」と思っており、これらの人たちに、実際に再び訪れようと思わせることが必要です。
- 来訪者と直接関わる人の対応により、町の印象は左右されます。観光資源の磨きあげとともに、人による対応力の向上、あたたかいおもてなしなどを心がけていくことが必要です。



<取り組み内容>

(1) また来たいと思われる対応を心がける

- 来訪者に対する接遇を向上させる。
- 清里町ならではの「おもてなし」を考え、普及させる。

H29	30	31	32	33	観協	町	民間
→→→→→					●	●	●
⇒→→→→ 検討						●	

(2) 再訪者を大切にする

- リピーターや、他の人を誘って来てくれた人たちに対するサービスを企画する。
  - ・宿泊施設のポイントカードづくり
  - ・再訪時に受けることができるサービスの提供
  - ・清里町ファンによる情報交換
- 再訪したいと思わせる企画をつくる。
  - ・登山記念はがきの送付
  - ・登頂回数を記録できる企画
  - ・町内の写真や絵のコンテスト開催（写真や絵の作品を集めて展示する場所の確保）
  - ・焼酎のオーナー制度

H29	30	31	32	33	観協	町	民間
⇒⇒→→→ 企画 試行							●
⇒⇒→→→ 企画 試行					●		

(3) 清里町の永続的なファンになってもらう

- 環境保護や美化に関する活動など、観光地づくりへの参加機会を設け、参加を促す。
  - ・斜里岳登山道の補修、清掃などを行う活動
  - ・神の子池やさくらの滝周辺環境美化活動
  - ・耕作放棄地への植林活動
  - ・林に戻す活動
- 清里町への関心を促すため、幅広い情報提供を行う。
  - ・「きよさと検定」の制定
  - ・移住に関する情報提供

H29	30	31	32	33	観協	町	民間
⇒⇒→→→ 企画 試行					●	●	●
→→→→→					●	●	●

重点的に進める内容	
<p>・リピーターや清里ファンを増やすため、あたたかいおもてなしを町全体で心がけるとともに、再訪者に感謝の気持ちが伝わるような取り組みを行います。</p>	

## 4 地域の人たちと取り組む

### <現状>

- 清里町の基幹産業は農業であることもあり、清里町に住んでいる人たちの多くは、観光には直接関わりのない人がほとんどです。また、観光客の増加が農業生産活動に影響を与える面もあり、農業関係者に観光振興への理解が十分得られていない部分もあります。
- 観光客の多くは、観光や立ち寄りのスポットのみを廻り、移動するため、商店街などまちなかで滞在することは少ない状況で、観光客の町内消費による経済波及は大きな広がりがありません。
- 道の駅では農作物をはじめ住民が作った商品が販売されていますが、お土産をより一層充実してほしいとの声は、来訪者からも住民からも多くあがっています。
- 清里町では、自転車やマラソンなどスポーツに関するイベントが行われています。その際、イベント運営をサポートするスタッフが必要ですが、イベントの規模拡大にともない、人員を確保することが難しくなっています。

### <必要なこと>

- 清里町の観光振興には、今ある観光資源をより魅力的にすることはもちろんですが、観光客にとって魅力的なものを新たに産み出すとともに、観光客による地域へのさまざまな波及効果を拡大していくことが期待されます。そのため、観光以外の産業をはじめ、さまざまな分野に携わる人たちが、清里町の観光についてともに考え、取り組んでいくことが必要です。
- お土産づくりやイベント運営の協力など、住民によって観光・交流が支えられている部分が増えています。清里町を訪れる人たちに楽しんでもらいたいという気持ちを共有し、取り組みに力を貸してくれる住民を増やしていくことが必要です。

<取り組み内容>

(1) 清里町の観光について考える機会を増やす

- 清里町の観光に関する意見交換、観光メニューづくりを  
ともに行う機会を増やす。

- ・観光関係者による情報共有、意見交換、ワークショップ
- ・各分野の連携による観光メニューづくり（グリーンツーリズムなど）

- 清里町の観光への理解を深める機会を増やす。

- ・観光関連業者と農業・商工業者などの相互理解につながる  
取り組み
- ・観光に関心がある人たちと観光を学ぶ機会

- 清里町の観光に携わる人を増やす。

- ・観光・特産品事業などの起業支援（起業セミナーなど）
- ・空き店舗対策
- ・起業を含む移住支援

H29	30	31	32	33	観協	町	民間
→→→→→						●	
→→→→→						●	
→→→→→						●	

(2) 清里町の観光に関わる人を増やす

- イベント運営に協力してもらえる人たちを増やす。

- ・スポーツイベントにおけるボランティアスタッフの参加促進

- お土産品づくりに協力してもらえる人たちを増やす。

- ・試作や試作品販売の場の提供（調理加工室やアンテナショップなど）

- 町内を案内するガイド役を増やす。

- ・「きよさとガイド」「きよさとコンシェルジュ」の育成  
（バッチなどの作成）

- 情報発信に協力してもらえる人たちを増やす。

- ・清里町観光協会のHPの普及（バナーの普及）
- ・SNSでの拡散の促進
- ・絵はがきや年賀状によるPR活動
- ・ロゴマーク等のステッカーの作成、普及

H29	30	31	32	33	観協	町	民間
→→→→→							●
→→→→→						●	●
→→→→→						●	
→→→→→					●	●	●

### (3) 観光による経済波及効果を高める

●地元農産物等の利用、販売を促進する。

- ・宿泊施設や飲食店による地元食材の利用促進
- ・地元農産物、農産加工品等の町内での販売の拡大、レシピ提案

●新しい土産品などの開発を促進する。

- ・新しい土産品開発の支援
- ・地元農産物等を利用した土産品、料理開発コンテストの開催

●買いたくなる、あげたくなる清里のお土産を増やす。

- ・地元特産物のセット商品、小ロット（少量）商品
- ・実用性のあるグッズの商品化（デザインタオル、手ぬぐい、アウトドアグッズなど）
- ・土産品などのパッケージ類のデザイン向上（パッケージ、包装紙、紙袋、レジ袋など）

H29	30	31	32	33	観協	町	民間
→→→→→					●	●	●
⇒⇒⇒→→					●	●	●
⇒⇒⇒→→					●	●	●

#### 重点的に進める内容

- ・現状で観光客から不満の声を聞く「お土産」の充実をめざし、農業者や商工業者などと連携し、清里でとれるものや持つ技術を活かし、清里の魅力が伝わるお土産を増やします。
- ・自分でつくったものを売りたいという住民の希望を叶えられるよう、生産や販売を支援する取り組みを進めます。
- ・お土産を包むパッケージについても、清里のイメージが伝わるようなデザインを用いるなど、見た目の向上にも努めます。

### Ⅲ 関係資料

#### 1 策定の経過

開催日など	内 容	
平成 28 年 2～5 月	来訪者アンケートの実施	
平成 28 年 6 月 15 日	第 1 回策定委員会	・ 策定方針、スケジュール等説明 ・ 清里町の観光について意見交換
7 月 6 日	第 2 回策定委員会	・ 清里町の観光における現状・課題分析 ・ 観光振興の方向性について
8 月 17 日	第 3 回策定委員会	・ 観光振興の方向性について (ターゲット、観光イメージ、キーワードなど)
9 月 27 日	第 4 回策定委員会	・ 観光振興の具体的な取り組みについて
10 月 25 日	第 5 回策定委員会	・ 計画内容素案について ・ 重点事項について
12 月 13 日	第 6 回策定委員会	・ 清里町観光振興計画（案）について

## 2 「清里町観光振興計画策定委員会」名簿

No	所 属	氏 名	備 考
1	きよさと観光協会	奥 山 英 明	
2	〃	山 下 健 吾	
3	〃	今 紺 拓 実	
4	〃	岩 井 真 一	
5	〃	笠 井 文 考	
6	清里町商工会	杉 本 公 一	
7	〃	山 川 千 恵 子	
8	〃	檜 村 祐 介	
9	清里町農業協同組合	城 村 英 樹	
10	〃	菊 池 淳 子	
11	〃	田 邊 有 人	
12	一般公募	斉 藤 聖 子	
13	〃	伊 藤 舞	
	オブザーバー	渡 邊 忠	
	事務局	本 松 昭 仁	企画政策課長
	事務局	清 田 憲 宏	企画政策課 主幹
	事務局	田 卷 宏 章	企画政策課 主事
	地域おこし協力隊	山 中 潤 一	
	〃	貝 塚 優 子	



# 清里町観光振興計画

平成 29 年 3 月

発行：清里町

〒099-4492 北海道斜里郡清里町羽衣町 13 番地  
電話：0152-25-2131 FAX：0152-25-3571